

これからも「力づけ合ってください」

「これからも励まし合い、力づけ合ってください」。[テサロニケ第一 5:11](#)

90 番の歌 励まし合いましょう

何を学ぶか*この体制で生活していくのは大変なことです。兄弟姉妹はさまざまな問題と闘っています。そうした人たちを励ますことができるなら、私たちは大きな助けになれます。この点に関して、[使徒パウロの手本](#)について考えることは役立ちます。

1. [テサロニケ第一 5 章 11 節](#)によると、私たち全てはどんなことを行えますか。

あなたの会衆は、王国会館を新築したり改装したりしたことがありますか。もあるなら、そこで行われた初めての集会をよく覚えていることでしょう。エホバに心から感謝したに違いありません。胸がいっぱいになって、最初の歌を歌うことができなかったかもしれません。確かに、立派な王国会館を建てることはエホバへの賛美となります。とはいえ、そこに集まる人たちを力づけることは、エホバにいっそ大きな賛美をもたらします。パウロは、このことを念頭に置いて、この記事の主題聖句である[テサロニケ第一 5 章 11 節](#)それで、すでにしている通り、これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってくださいを書きました。（読む。）

2. この記事ではどんなことを考えますか。

①仲間を力づける面で、パウロは素晴らしい手本です。パウロは兄弟姉妹に思いやりを示しました。兄弟姉妹が（1）試練に立ち向かい、（2）平和な関係を保ち、（3）エホバへの信仰を強めるよう助けました。この記事では、こうした点を考えます。②また、どうすればパウロに倣って仲間を力づけることができるかについても取り上げます。（[コリー 11:1 キリストに倣っている私に倣ってください](#)）

試練に立ち向かうよう助けた

3. パウロはどんなバランスの取れた見方を持っていましたか。

パウロは、兄弟姉妹を心から愛していました。パウロ自身、いろいろな問題を経験していたので、試練に遭っている兄弟姉妹に同情し、思いやりを示すことができました。ある時、パウロは手持ちのお金がなくなってしまったので、自分や同行者の生活を支えるために働く必要がありました。（[使徒 20:34 私が自分と同行者の生活のためにこの手で働いたことを、皆さん自分が知っています](#)）パウロは天幕作りを仕事にしていました。コリントに着いてしばらくの間は、同じ仕事をしていたアクラやプリスキラと一緒に働きました。それでも、「安息日ごとに」ユダヤ人やギリシャ人に伝道していました。やがて、シラスとテモテがやって来ると、「パウロは神の言葉を伝えることに

専念し」ました。（使徒 18:2-5 そして、ポントス生まれのユダヤ人であるアクラと妻のプリスキラに会った。2人は、クラウディウスがユダヤ人全員にローマ退去を命じたために、最近イタリアから来たのだった。パウロは2人のもとに行き、3職業が同じだったのでその家に滞在し、一緒に働いた。天幕作りが職業だった。4パウロは安息日ごとに会堂で話をし(*論じ)、ユダヤ人とギリシャ人を説得した。5シラスとテモテがマケドニアから来ると、パウロは神の言葉を伝えることに専念し、イエスがキリストであることを証明するためにユダヤ人たちに語った）パウロは人生の中で一番大切にすべきことを決して見失いませんでした。エホバに仕えるを中心についていました。パウロは、宣教の面でも自分の生活を支える面でも一生懸命に働いていたので、兄弟姉妹に励ましを与えることができました。どんなことを教えたのでしょうか。毎日の生活の中でぶつかる問題や家族を養うことに思いを奪われて、何であれエホバへの崇拝に關係した「より重要なこと」をおろそかにすることがあってはいけない、ということです。（フィリ 1:10皆さんがより重要なことを見極め、キリストの日までずっと純粋でいて、人の信仰を妨げることはありませんように）

4. パウロとテモテは迫害に直面している兄弟姉妹をどのように助けましたか。

4 テサロニケに会衆ができて間もなく、クリスチャンになったばかりの兄弟姉妹は激しい反対に直面しました。暴徒と化した反対者たちは、パウロとシラスを見つけられなかつたので、「何人かの兄弟たちを町の支配者たちの所に」引きずっていき、「この男たちは皆カエサルの命令に逆らって行動し……ています」と叫びました。（使徒 17:6, 7 しかし2人が見つからないので、ヤソンと何人かの兄弟たちを町の支配者たちの所に引きずっていき、こう叫んだ。「至る所で騒ぎを起こした男たちがここにまで来ていて、7ヤソンが迎え入れました。この男たちは皆カエサルの命令に逆らって行動し、イエスという別の王がいると言っています」）新しいクリスチャンたちは、人々から反対されて、どれほど不安に感じ、恐れたことでしょう。エホバに仕えようという気持ちが弱まってしまってもおかしくない状況でした。でも、パウロはそうなってほしくないと思っていました。パウロとシラスはテサロニケを去らなければいけませんでしたが、この新しい会衆がきちんと世話を受けられるようにしました。パウロはこう言っています。「テモテを遣わしました。テモテは私たちの兄弟……です。彼を遣わしたのは、皆さんの信仰が強くなるよう、皆さんを力づけ、慰めるためです。誰にもこのような苦難によって動搖してほしくないからです」。（テサー 3:2, 3 テモテを遣わしました。テモテは私たちの兄弟であり、キリストについての良い知らせを伝える、神の奉仕者(if*神と共に働く者)です。彼を遣わしたのは、皆さんの信仰が強くなるよう、皆さんを力づけ、慰めるためです。3誰にもこのような苦難によって動搖してほしくないからです。皆さんもよく分かっているように、私たちは苦しい目に遭うことは避けられません(*遭うように定められています)）テモテは、故郷のルステラで迫害を経験していたようです。その時、パウロが兄弟たちを力づける様子を目にしていました。エホバの助けを目の当たりにしたテモテは、テサロニケの兄弟姉妹に心配する必要はないことを確信を込めて伝えることができました。（使徒 14:8 ルステラで、両足が不自由な男性が座っていた。その男性は生まれた時から足が悪く、一度も歩いたことがなかった19-22ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアやイコニオムからやって来て群衆を説き伏せた。人々はパウロを石打ちにし、彼が死んだと思って町の外に引きずり出した。20しかし、弟子たちが取り囲んでいると、パウロは起き上がり、町に入った。そして次の日、バルナバと一緒にデルベに向かった。212人はその町に良い知らせを広め、かなり大勢の人々が弟子となるよう手助けした後、ルステラ、イコニオム、アンティオキアに戻り、22弟子たちを力づけ、信仰を保つよう励まして、「私たちは、多くの苦難を経験して神の王国に入らなければなりません」と言つ

た。[ヘブ 12:2](#) 私たちの信仰を導き、完全にしてくださる方であるイエスを一心に見つめながら走るのです。イエスは、前途にある喜びのために、恥を物ともせず苦しみの杭(*)に耐え、神の座の右に座りました)

5. ブライアント兄弟は、長者の助けからどのように力づけられましたか。

5 パウロはほかにもどんな方法で仲間を力づけたでしょうか。バルナバと一緒に、ルステラ、イコニオム、アンティオキアを再び訪問した時、2人は「会衆ごとに長老たちを任命し」ました。
[\(使徒 14:21-23\)](#) それらの長老たちは、会衆の慰めとなったことでしょう。現代の長老たちも同じです。ブライアント兄弟はこう言います。「15歳の時、父は家を出ていき、母は排斥されました。見捨てられたように感じ、とても落ち込みました」。こうした大変な時、ブライアント兄弟にとって何が助けとなったでしょうか。「長老のトニー兄弟が、集会の時などによく話し掛けてくれました。試練に遭っても喜びを保った人たちのことを話してくれました。そして、[詩編 27 編 10節](#) たとえ父と母に捨てられても、エホバが迎えてくださるを読んでくれましたし、ヒゼキヤの話をよくしてくれました。ヒゼキヤは、父親が良い手本ではなかったのに、エホバへの忠実を保ったんです」。ブライアント兄弟は、こうした助けからどのように力づけられたでしょうか。こう言っています。「トニー兄弟の励ましのおかげで、やがて全時間奉仕を始めることができました」。長老の皆さん、ブライアント兄弟のように励みとなる「良い言葉」を必要としている人たちを進んで助けてください。[\(格 12:25\)](#) 心配事があると心が沈み(*憂鬱になり)、良い言葉によって心が晴れる)

6. パウロは、兄弟姉妹を励ますために何をしましたか。

6 パウロは、「大勢の証人たち」がエホバからの力を受けて試練を忍耐したことについて述べています。[\(ヘブ 12:1\)](#) それで、これほど大勢の(*大きな雲のような)証人たちに囲まれているのですから、私たちもあらゆる重荷と、すぐに絡み付く罪を捨て、参加している競走を忍耐して走りましょう) パウロは、兄弟姉妹がさまざまな試練を乗り越えた昔の人たちについて学ぶなら、勇気が得られ、「生きている神の都市」に思いを向け続けることができる、ということを理解していました。[\(ヘブ 12:22\)](#) 一方、皆さんが近づいたのは、シオンの山、生きている神の都市である天のエルサレム、無数の(*幾万もの)天使たちが) 現代でも同じことが言えます。エホバがギデオンやバラクやダビデやサムエルといった人たちを助けた記述を読むと、本当に力が得られるのではないでしょうか。[\(ヘブ 11:32-35\)](#) これ以上、何を言えばいいでしょうか。さらにギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、またサムエルやほかの預言者について語つていくなら、時間がなくなるでしょう。33 信仰によって彼らは、幾つもの王国を打ち破り、正しいことを推し進め、約束を与えられ、ライオンの口をふさぎ、34 火の勢いを食い止め、剣の刃を逃れ、弱かったのに強くされ、力強く戦い、攻めてきた軍隊を敗走させました。35 女性たちは、死んだ家族を復活させてもらいました。ほかの人たちは、さらに勝った復活を経験するために、何らかの贖いによる釈放を受け入れなかつたので、拷問に掛けられました) また、現代の信仰の手本からも励みを得られます。世界本部には、エホバに忠実に仕えてきた人たちのライフ・ストーリーを読んで信仰を強められた、という手紙がよく届きます。

平和な関係を保つよう助けた

7. ローマ 14 章 19-21 節にあるパウロの言葉から、どんなことを学べますか。

7 会衆をいっそう平和なところにするよう努力するなら、仲間を力づけることができます。意見の違いが原因で分裂が生じるようなことがないようにしましょう。聖書の教えに反しない事柄に関しては、自分の意見を押し通そうとしてはいけません。1つの例を考えてみましょう。ローマの会衆には、ユダヤ人とユダヤ人ではない人たちがいました。モーセの律法が廃止されたので、食べ物に関する規定を守る必要はなくなりました。（マル 7:19 それは人の心ではなく胃に入っていき、それから下水(*便所/屋外便所)に出ていくからです」。こうしてイエスは全ての食物を清いものとした）それで、どんな物でも食べてよいと考えるようになったユダヤ人たちがいました。一方、そうは思わないユダヤ人もいました。そのために、会衆が分裂してしまっていました。パウロは、平和を保つことの大切さを教えるためにこう言いました。「肉を食べることやぶどう酒を飲むことなど、兄弟に過ちを犯させるような事柄は何も行わないのがよいでしょう」。（ローマ 14:19-21 ですから、平和に役立つことや、励まし合う助けになることを何でも行いましょう。20 もう食べ物のために、神の働きを台無しにしてはなりません。確かに全ての物は清いのですが、過ちのもと(*信仰の妨げ)となる場合には、食べることは有害です(*間違っています)。21 肉を食べることやぶどう酒を飲むことなど、兄弟に過ちを犯せる(*兄弟の信仰を妨げる)ような事柄は何も行わないのがよいでしょうを読む。）このようにしてパウロは、意見の違いを大きな問題にするなら、一人一人にも会衆全体にも悪影響が及ぶ、ということを兄弟姉妹が理解できるように助けました。また、パウロ自身、誰かに過ちを犯せるようなことは行わないようにしました。（コリヤー 9:19-22 私は自由であり、誰にも束縛されていませんが、全ての人の奴隸になりました。できるだけ多くの人を引き寄せるためです。20 ユダヤ人に対してはユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を引き寄せるためです。律法の下にいる人に対しては律法の下にいる人のようになりました。私自身は律法の下にいませんが、律法の下にいる人を引き寄せるためにそうしたのです。21 律法を持たない人に対しては律法を持たない人のようになりました。私は神の律法を持っていないわけではなく、キリストの律法の下にいますが、律法を持たない人を引き寄せるためにそうしたのです。22 弱い人に対しては弱い人になりました。弱い人を引き寄せるためです。私はあらゆる人に対してあらゆるものになってきました。できる限りのことをして、何人かでも救いたいからです）私たちも同じように、好みに関する事を問題にしないことによって、仲間を力づけ、平和を保つことができます。

8. 会衆の平和を脅かすような問題が生じた時、パウロはどうしましたか。

8 パウロは、重要な事柄に関して意見が違う相手と平和を保つ点で、立派な手本を示しました。1世紀の会衆には、クリスチヤンになった異国の人には割礼を受ける必要がある、と主張するユダヤ人がいました。それは、反対者からの批判を避けるためだったようです。（ガラ 6:12 皆さんに割礼を受けさせようとしているのは、人から良く見られよう(*体面を繕おう)とする人たちです。彼らは、キリストの苦しみの杭(*)のために迫害されるのを避けたいだけです。）パウロは、この意見は間違っていると考えていましたが、自分の意見を押し通そうとするのではなく、エルサレムにいる使徒や長老たちに判断を仰きました。（使徒 15:1, 2 さて、ある人たちがユダヤから下ってきて、兄弟たちに、「モーセの慣例通り割礼を受けない限り、救われない」と教え始めた。2 それで、パウロとバルナバと、その人たちとの間で、かなりの対立

と議論が生じた。この件(*議論のこと)で、パウロとバルナバと何人かが、エルサレムにいる使徒や長老たちのもとに上ることになった) パウロがこのように行動したので、会衆の喜びと平和が保たれました。 (使徒 15:30, 31 こうして、この人たちは送り出されてアンティオキアに下り、皆を集めて手紙を渡した。 31 人々はそれを読んで、励ましの言葉を喜んだ)

9. パウロの手本にどのように倣えますか。

9 何かのことでなかなか意見が一致しない時には、会衆を世話するようエホバから任命されている人たちに助けを求めるなら、平和を守ることができます。聖書に基づく指示は、多くの場合、出版物や組織から与えられるガイドラインの中に載せられています。自分の意見を通そうとするのではなく、こうした指示に従うなら、会衆の平和に貢献できます。

10. パウロは仲間との関係をいっそう平和なものとするために、ほかにもどんなことをしましたか。

10 パウロは、仲間との関係をいっそう平和なものとするために、兄弟姉妹の良くない点ではなく良い点に注目しました。例えば、「ローマのクリスチヤンへの手紙」の最後の部分で、パウロは多くの人たちの名前を挙げています。そして、こうした人たちの個人的な事柄を含めたり、良い点を褒めたりしています。私たちも、兄弟姉妹の良い点を惜しみなく褒めるなら、パウロに倣うことができます。そのようにして、仲間との絆を深め、会衆をもっと愛のあふれたところにすることができます。

11. 意見が合わない時、平和な関係を取り戻すためにどんなことができますか。

11 経験を積んだクリスチヤンであっても、時には意見が合わなかつたり、議論になつたりすることがあるかもしれません。パウロとバルナバの場合がそうでした。2人はとても親しかつたものの、次の宣教旅行にマルコを連れていくかどうかで議論になつてしましました。そして、「怒りが激しくぶつかって」、2人は別れることになりました。 (使徒 15:37-39 バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネを連れていくことに決めていた。 38 しかしパウロは、パンフリアでマルコが一緒に行動するのをやめてしまったことがあるので、彼を連れていくことに賛成できなかつた。 39 そこで怒りが激しくぶつかって、2人は別れることになった。バルナバはマルコを連れて船でキプロスに向かった) でも、パウロとバルナバとマルコは良い関係を取り戻しました。会衆の平和と一致をとても大切にしていたからです。後にパウロは、バルナバとマルコのことを高く評価しています。 (コリ一 9:6 バルナバと私だけ、生活のための仕事をやめる権利がないのですか。コロ 4:10 私と一緒に捕らわれているアリストラコが皆さんによろしくと言っています。バルナバのいとこマルコもよろしくと言っています。 (皆さんは、もしマルコがそちらに行ったら歓迎するようにとの指示を受けています。)) 私たちも同じように、会衆の仲間との意見の違いを乗り越え、兄弟姉妹の良い点にいつも目を向ける必要があります。そうすれば、平和と一致に貢献することができます。 (エフェ 4:3 平和という絆で結ばれ、聖なる力による(*精神の)一致を保つよう真剣に努力してください)

兄弟姉妹の信仰を強めた

12. 兄弟姉妹はどんな問題と闘っていますか。

12 私たちは、仲間の信仰を強めることによっても力づけることができます。兄弟姉妹の中には、エホバの証人ではない家族や同僚やクラスメートからばかにされている人がいます。重い病気や心の傷と闘っている人もいます。また、バプテスマを受けて以来、この体制が終わるのを長年待ってきた人もいます。こうしたことは、どれも信仰の試練となることがあります。1世紀のクリスチヤンも同じような問題を経験しました。では、パウロはこうした兄弟姉妹をどのように強めたでしょうか。



人を力づけるために、パウロに倣ってどんなことができるか。（13節を参照。）

*写真や挿絵: 父親がクリスマスに誘われた娘と一緒に、出版物の提案を基にどのように説明できるかを考えている。

13. パウロは、信仰をばかにされていた仲間を助けるためにどんなことをしましたか。

13 **パウロは聖書を使って兄弟姉妹の信仰を強めた。** ユダヤ人のクリスチヤンの中には、クリスチヤンではない家族から、「キリスト教よりもユダヤ教の方が優れている」と言わされた時に、何と答えたらいか分からない人がいたかもしれません。そうした人たちにとって、パウロがヘブライ人のクリスチヤンに送った手紙は大いに助けになったでしょう。（[ヘブ1:5](#), [6](#) 例えば、神は天使の誰かにこう言ったことがあるでしょう。「あなたは私の子。今日、私はあなたの父となった」。「私は彼の父となり、彼は私の子となる」。[6](#) 神はご自分の初子を再び世界に遣わす際、こう言います。「神の天使たちは皆、彼に敬意を表し(*ひざまずき)なさい」；[2:2](#), [3](#) 天使たちを通して語られた言葉が確立され、全ての違反と不従順な行いが公正に処罰されたのですから、もし私たちがこれほど素晴らしい救いを軽視するなら、どうして処罰を逃れられるでしょうか。この救いについては、主が最初に語り、主の言葉を聞いた人たちが確かなものとして私たちに伝えました；[9:24](#), [25](#) キリストは、実体の写しにすぎない、人が造った聖なる場所にではなく、天そのものに入りました。今や私たちのために神の前(d*顔の前)に出てくださっています。[25](#) それは、何度も自分を捧げるためではありません。大祭司が自分の血ではない血を携えて毎年聖なる場所に入るのとは違います）説得力のあるパウロの説明を使って答えることができました。私たちも、誰かからばかにされている人が自分の信じていることをしっかり説明するために、出版物を活用するよう助けることができます。若い人たちが創造を信じていることでばかにされている場合はどうでしょうか。「[生命—どこから？](#)」や「[生命](#)

[の起源 — 5つの大切な質問](#)」の冊子から、創造を信じている理由について説明するのに役立つ情報を得られるよう助けることができます。



人を力づけるために、パウロに倣ってどんなことができるか。（14節を参照。）

* **写真や挿絵:** 1組の夫婦が、国内の被災した地域に行って救援活動を行っている。

14. パウロは伝道や教えることに忙しくしていましたが、どんなことも行いましたか。

14 **パウロは、「立派な行い」によって愛を示すよう兄弟姉妹を励ました。** ([ヘブ 10:24](#) また、互いのことをよく考えて(*を気遣って/に关心を払って)、愛を表し立派な行いをするよう勧め(*意欲を起こさせ/奮い立たせ)合いましょう) パウロは、言葉だけでなく行動によっても兄弟姉妹を助けました。例えば、ユダヤのクリスチャンが飢饉に見舞われた時、パウロは救援物資を届けました。 ([使徒 11:27-30](#) その頃、預言者たちがエルサレムからアンティオキアに下ってきた。 28 その1人のアガボという人が立ち上がり、全土に大飢饉が生じようとしていることを聖なる力によって予告した。これはクラウディウスの時に実際に起きた。 29 それで弟子たちは、それが提供可能なものを提供し、ユダヤに住む兄弟たちを救援する(*への救援奉仕をする)ことに決めた。 30 そしてこれを実行し、バルナバとサウロが長老たちに届けた) 伝道や教えることに忙しくしていましたが、「困窮している人たちをどうすれば助けられるだろうか」といつも考えていたのです。 ([ガラ 2:10](#) 私たちが言われたのは、貧しい人たちのことを忘れないようにということだけでした。私はそのことに真剣に取り組んできました) そのようにしてパウロは、エホバが必ず世話してくださいるということを確信できるよう、仲間を助けました。現代でも、自分の時間や体力や能力などを用いて災害救援を行うなら、兄弟姉妹の信仰を強めることができます。世界的な活動のために定期的に寄付することによっても助けになれます。こうしたことを行うなら、エホバに見捨てられることは決してないという確信を持つよう、兄弟姉妹を助けることができるのです。



人を力づけるために、パウロに倣ってどんなことができるか。（15-16節を参照。）*写真や挿絵：1人の長老が、信仰が弱くなっている兄弟を訪問し、何年か前に一緒に出席した開拓奉仕学校の時の写真を見せていている。その兄弟は写真を見て、楽しかった時のことと思い出し、エホバに仕える喜びをまた味わいたいと思うようになっている。やがて、この兄弟は会衆に戻ってくる。

15-16. 信仰が弱くなっている人を助けるために、どんなことができますか。

15 **パウロは信仰が弱くなっていた人たちを励まし続けた。** パウロは、そうした人たちに思いやりを示し、温かく前向きな言葉で語り掛けました。（[ヘブ 6:9](#) とはいえ、私たちはこのように語ってはいても、愛する皆さんはもっと良い状態にあって救いに至る、ということを確信しています；[10:39](#) 私たちは、おじけづいて滅びに至る者ではなく、信仰を抱いて生き続ける者です）「ヘブライ人のクリスチャンへの手紙」の中で、「私たち」という言葉を何度も使っています。このことから、自分が教えたことを自分でも当てはめなければいけない、と理解していたことが分かります。（[ヘブ 2:1](#) ですから、私たちは聞いた事柄に普通以上の注意を払う必要があります。決して流されない(*漂い出ない)ようにするために、[3](#) もし私たちがこれほど素晴らしい救いを軽視するなら、どうして処罰を逃れられるでしょうか。この救いについては、主が最初に語り、主の言葉を聞いた人たちが確かにものとして私たちに伝えました）私たちはパウロに倣って、信仰が弱くなっている人を励まし続けましょう。心からの関心を示して力づけることができます。そのようにして、兄弟姉妹が私たちの愛を感じられるようにしましょう。温かく優しい口調で話すなら、私たちの言葉は兄弟姉妹をいっそう力づけるものとなるでしょう。

16 パウロは、エホバがご自分に仕える者たちの良い働きに目を留めている、ということを兄弟姉妹が確信できるように助けました。（[ヘブ 10:32-34](#) 以前の日々をいつも思い出してください。皆さんは、啓発を受けた後、数々の苦しみに遭いながら大きな戦いに耐えました。33 ある時には、人々の前で(*劇場の見せ物のように)非難にさらされて苦難に遭い、別の時には、そのような経験をしている人たちに寄り添いました。34 捕らわれている人たちに同情し、持ち物が奪われても喜んで耐え忍びました。もっと良い、永続するものを持っていることを知っているからです）私たちは同じようにして、信仰が弱くなっている仲間を助けることができます。真理を知ったいきさつについて話してもらったり、エホバに助けてもらった時のことを思い出すよう励ましたりできるかもしれません。このようにして、エホバが私たちの愛を忘れたりはされることや、これからも決して見捨てないということを確信できるよう助けることができ

ます。 (ヘブ 6:10) 皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、**そうした働きや愛を忘れたりはされません**：13:5, 6 お金を愛するような生き方をせず、今あるもので満足しましょう。神はこう言っています。「私は決してあなたを離れず、決してあなたを見捨てない」。6 それで、私たちは勇気を持ってこう言えます。「エホバ(*)は私を助けてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう」) そうすれば、その人はエホバに仕え続けたいという気持ちを強めることができるでしょう。

「これからも励まし……合ってください」

17. 私たちはどんな点で成長していくことができますか。

17 建設を行う人が技術を磨いていくのと同じように、私たちも互いに力づけ合う点で成長していくことができます。①試練に遭っている仲間を力づけるために、**昔の人たちの手本**について話し合うことができます。②また、**仲間の良い点を語ること**によって**会衆をいっそう平和なところに**し、③**平和が脅かされた時にはそれを守るために行動し、意見が合わない時にも平和な関係を取り戻す**ようにすることができます。④そして、兄弟姉妹の**信仰を強めるために、聖書の大切な教えを伝え**、⑤**生きていくのに必要な物を得られるようにし**、⑥**エホバとの絆を強めるよう助ける**ことができます。

18. どんなことを行っていきたいと思いますか。

18 建設奉仕に参加すると、喜びと達成感を味わうことができます。同じように、**兄弟姉妹を力づけること**からも喜びと達成感を味わえます。建物はやがて傷んでだめになりますが、私たちが**仲間を強めるために払う努力は決して無駄になりません**。ですから、「**これからも励まし合い、力づけ合って**」いきましょう。 (テサ一 5:11) それで、すでにしている通り、**これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってください**)

どんなことができますか

1. 試練に立ち向かうよう仲間を助けるために

- ・S03 兄弟姉妹を心から愛し、試練に遭っている兄弟姉妹に**同情し、思いやりを示す**。パウロは、宣教の面でも自分の生活を支える面でも一生懸命に働いていたので、兄弟姉妹に**励まし**を与えることができた。それは、生活の中でぶつかる問題や家族を養うことに思いを奪われてエホバへの崇拝に關係した「より重要なこと」をおろそかにしてはならないという励ましたった
- ・S04 迫害を経験しても**エホバの助けがあり、心配する必要はない**ことを、確信を込めて伝えた
- ・S05 **聖書の良い言葉を必要としている人たちを進んで助ける**
- ・S06 古代と現代の**さまざまな試練を乗り越えた大勢の証人たちの模範**から学ぶよう勧める

2. 会衆をいっそう平和なところとするために

- ・S07 意見の違いや好みに関することを問題にせず、仲間を力づけ、平和を保つ
- ・S09 何かのことでなかなか意見が一致しない時には自分の意見を押し通そうとせず、長老たちの援助を求めたり、出版物や組織から与えられるガイドラインの中の聖書の指示に従う
- ・S10-11 会衆の仲間との意見の違いを乗り越えるため、兄弟姉妹の良い点にいつも目を向け、惜しみなく讃める

3. 信仰が弱くなっている仲間を強めるために

- ・S13 聖書を使って兄弟姉妹の信仰を強め、出版物を活用して反対に対応するよう助ける
- ・S14 困窮している人たちをどうすれば助けられるだろうかといつも考え、自分の時間や体力や能力などを用いて災害救援を行なったり、世界的な活動のために定期的に寄付をして、兄弟姉妹がエホバが必ず世話してくださるということを確信できるよう強められる
- ・S15 信仰が弱くなっている人に温かく優しい口調で話したり励まし続け、愛を感じられるよう心からの関心を示して力づける
- ・S16 エホバがご自分に仕える者たちの良い働きに目を留めていることや、私たちが示してきた愛を忘れず、これからも決して見捨てないということを確信できるよう助ける

100 番の歌 人をもてなす

△ この体制で生活していくのは大変なことです。兄弟姉妹はさまざまな問題と闘っています。そうした人たちを励ますことができるなら、私たちは大きな助けになります。この点に関して、使徒パウロの手本について考えることは役立ちます。

△ 写真や挿絵: 父親がクリスマスに誘われた娘と一緒に、出版物の提案を基にどのように説明できるかを考えている。

△ 写真や挿絵: 1組の夫婦が、国内の被災した地域に行って救援活動を行っている。

△ 写真や挿絵: 1人の長老が、信仰が弱くなっている兄弟を訪問し、何年か前に一緒に出席した開拓奉仕学校の時の写真を見せている。その兄弟は写真を見て、楽しかった時のことを思い出し、エホバに仕える喜びをまた味わいたいと思うようになっている。やがて、この兄弟は会衆に戻ってくる。

△ (テサー 5:11) それで、すでにしている通り、これからも励まし*合い、力づけ合ってください。
○

または、「慰め」。